

10月・11月 開館カレンダー

北千里児童センター

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31				

北千里地区公民館

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31				

北千里図書館

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31				

北千里児童センター 午前10時～午後6時
休館日 年末年始・施設点検などによる臨時休館あり

北千里地区公民館 午前10時～午後10時
休館日 毎週火曜日 祝日の翌日 年末年始

北千里図書館 午前10時～午後8時
休館日 毎月最終火曜日 年末年始

最寄駅 阪急電鉄千里線「北千里駅」徒歩3分 阪急バス「阪急北千里駅」徒歩3分



まちなかりビング北千里

〒565-0874 大阪府吹田市古江台3丁目8番1号

代表電話・北千里地区公民館 電話 06-6834-2921 FAX 06-6155-8278
北千里児童センター 電話 06-6833-6211 FAX 06-6155-8122
北千里図書館 電話 06-6834-2922 FAX 06-6834-2944
指定管理者 TRC北千里共同事業体 電話 06-6155-8277

URL: <https://machikita.jp> Instagram: @machikita.jp

MACHIKITA DAYS 10月号 (2023年10月1日発行) 編集発行: 指定管理者 TRC北千里共同事業体

Event Information

えほんで学ぶおたのしみ会

日 時: 10/14 (土)
14:00-14:30

場 所: 1階乳幼児室
定 員: 幼児と小学生20名※先着順
(幼児は保護者同伴)

申 込: 不要
千里金蘭大学栄養学部栄養学科「読み聞かせ隊」のみなさんが、絵本や紙芝居を読んでくれます。今回のテーマは「ハロウィン！」です。

【第2回】まちきた学びの親子アトリエ
～お父さんに役立つ育児セミナー～

知っておきたい「子どもとの接し方」を学ぶ
日 時: 10/22 (日)
14:00-16:00

場 所: 2階会議室1-3 申込フォーム
定 員: お父さん、これからお父さんになる方14組※先着順
(パートナーの方やお子様と一緒にご参加いただけます)

申 込: 申込フォーム

ハロウィン・ランタンをつくろう

日 時: 10/28 (土)
13:30-15:00

場 所: 2階会議室5 申込フォーム
定 員: 小学生10名
(保護者の付き添い不要)

申 込: 申込フォーム※抽選

材 料 費: 100円
持 ち 物: ネームペン
受付期間: 10/1(日) - 10/10(火)
LEDライト付きランタンを手作りすることができます！

まちなかりビング北千里ニュースレター

MACHIKITA DAYS

北千里の「時」と「人」をむすぶ 開かれた暮らしの中の交流拠点

10月号

2023/10/1発行



まちきたとSDGs

今月の表紙「緑の豊かさを守ろう “花いっぱいプロジェクト”」

まちきたとSDGs

まちきたの「学び人」の哲学に迫る わたしの学び哲学 / 全国手話検定1級

藤岡 扶美(ふうちゃん)さん

まちきた図書館員の偏愛本棚 / 読書の秋 秋の夜長に読みたい1冊





まちきたとSDGs

図書館・児童センター・公民館
が目指すSDGsってなんだろう

「SDGs エス・ディー・ジーズ」という言葉を知っていますか？
SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味で、世界中の国々が一緒になって、地球を住みやすい星にしようという取り組みです。2030年を達成年限とし、進むべき方向の道しるべとして17のゴールと169のターゲットから構成されています。まちきたでも持続可能なまちづくりに向けて様々な取り組みを行っています。簡単ではありますが、いくつかの取り組み事例をご紹介します、もし初めて知る取り組みがありましたら是非ご活用いただきたいと思います。

図書館の取り組み

【1】貧困をなくそう

すべての人に学びの場、体験の場、本に触れる機会を提供します。

【4】質の高い教育をみんなに

自習室や電源付き閲覧席を完備し、学びに集中できる環境作りをしています。

【11】住み続けられるまちづくりを

誰もが来館できる身近な生活の場に図書館があります。子どもたち同士でも安心して利用できます。

【12】つくる責任 つかう責任

市民の方から寄贈された本は図書館の所蔵にする、他の市民の方にリサイクルするなど有効活用します。



児童センターの取り組み

【3】すべての人に健康と福祉を

- ・保育士・教員免許等の資格を持つ児童厚生員が育児や子育ての相談をいつでも受け付けています。
- ・正午、館内放送で「すいたスマイル体操」を流し、健康増進を促します。
- ・使用後のおもちゃを消毒しています。

【5】ジェンダー平等を実現しよう

女子トイレ・男子トイレ、どちらにもおむつ交換台を設置しています。

【12】つくる責任 つかう責任

筆筒の奥の宝物。利用者さんのトランクルームに眠っている鉛筆やおもちゃを寄付していただき、大切に使っています。

【15】みどりの豊かさを守ろう

わんぱく広場では「花いっぱいプロジェクト」を新たに地域の保育園と連携しながら実施します。子どもたちに種から植物を育ててもらい、育てることの難しさや面白さを体感しながら緑を身近に感じてもらうプロジェクトです。



公民館の取り組み

【3】すべての人に健康と福祉を

貸室により市民の自主的な活動を促進し、生涯学習を支援しています。また、主催講座や各種イベントを行うことで全ての世代に体験の機会を提供しています。

【7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・館内は24時間換気装置を設置しているため、常に新鮮な外気を取り入れる構造になっています。
- ・屋上に太陽光パネルを設置し、発電を行っています。
- ・視聴覚室前の交流スペースに吹田市水道水のウォータークーラーを設置。マイボトル持参でいつでも利用可能です。



まちきたの「学び人」の哲学に迫る

「わたしの学び哲学」

【File9】 全国手話検定1級

藤岡 扶美（ふうちゃん）さん

12月3日（日）開催の「ふうちゃんと遊ぼう～手話にチャレンジ～」に出演して下さる全国手話検定1級 藤岡 扶美（ふうちゃん）さんの「学び哲学」に迫ります！

――愛媛県西予市出身・大阪府吹田市在住

生まれつき難聴。自己受容しないまま、きこえる世界で音声言語で育つ。

◆YouTube



■ あなたと手話の出会いを教えてください

『心に真っ直ぐに届くこの言語は何なんだ！？』子どもが通う学校で担任の先生が話される、美しく魅力的な手話に一目惚れしました。

■ いま、リカレント教育や生涯学習の重要性がうたわれていますが、学ぶことの魅力や必要性について教えてください
学びは自分を知り、他者を知ることができます。知ることから自己肯定、相互理解、共生、豊かな心へ繋がると思っています。

■ 手話の魅力を教えてください

自分に自信が持てる。出会いが広がる。誰とでも臆せず話せるようになる。顔を合わせたのコミュニケーションならではの豊かさ。視覚的で楽しい。



■ 今後の夢や目標、挑戦してみたいことを教えてください

▶夢:いつでも どこでも だれでもが自然に手話を目にする風景が当たり前になること。 ▶目標:声と手話で話す人としてテレビ出演する ▶挑戦してみたいこと:ダンス

■ 最後に、おすすめの本を教えてください

『デフ・ヴォイス法廷の手話通訳士』丸山正樹/著（文藝春秋）
『わたしはあかねこ』サトシン/作 西村敏雄/絵（文溪堂）

藤岡さん、ありがとうございました！

まちきた 図書館員の偏愛本棚

今月のテーマ：読書の秋 🍂 秋の夜長に読みたい1冊

北千里図書館の図書館員たちが「本当に好きな本」「読んで欲しい本」を毎月紹介し、読者のみなさまをまだ見ぬ読書の世界へと誘うコーナーです。すべての本は吹田市内の図書館に所蔵しています。

01



暗幕のゲルニカ

原田 マハ / 著
新潮社

スリリングな美術小説

世界的名画、ピカソの「ゲルニカ」を巡るサスペンス小説。ピカソに密着取材でもしたの！？と思うほど、その人間性がリアルに描かれ、気づけば作品に惹き込まれていました。読めば必ずピカソを知りたくなります。ちなみに私はスペインまで「ゲルニカ」を観に行きました。

02



街とその不確かな壁

村上春樹 / 著
新潮社

一気に読んでほしい作品

黒地に白字のシンプルな表紙、堅苦しい書名。660ページの長編、価格3000円弱。発売日当日、この本に挑む気持ちで購入しました。主人公は同じ人物である【私】と【ぼく】。2つのストーリーが並行して交互に進行します。図書館が舞台であることも心を掴まれた要因。この街に一度足を踏み入れたら、もう読むことをやめられません。

03



図説 伊能忠敬の地図を読む

渡辺 一郎 / 著
河出書房新社

200年前の日本の姿が蘇る

伊能忠敬の測量隊が作製した地図を、一般に伊能図と称します。田畑や宅地を測るのと同じ単純な方法で、全国を地道に測量。1821年、最終版伊能図が幕府に提出されました。丁寧な測量結果は、現代の地図と比べても引けを取らないと感じます。地図の好きな方にお勧めの1冊です。

04



十一月の屋

高橋 法子 / 著
福音館書店

2ヶ月間のあたたかく充実した日々

親と離れ「十一月荘」に下宿することになった中学生の爽子。素敵な場所のでなにかをやりとげたいと、物語を書き始めます。自由でおらかな住人たちとの暮らしのなかで、爽子はなにを感じ、どんな物語ができあがるのか…？11月が近づく読み返したくなる大好きな本です。